

「食」と「漁」を考える地域シンポとは

【開催趣旨】

「農」や「漁」の営みは、人々が生きていくためのかけがえのない食料を生産し、農村や漁村において自然と人間との調和的な関わりを保ちながら、地域文化の基礎をつくりだしてきたといえます。そして、農村や漁村での食料生産の営みの安定こそ、国の社会的安定性を維持するために重要不可欠なものであるといえます。日本の「食」を支える地域漁業の発展と魚食文化の育成のために、「食」と「漁」を考える地域シンポを取り組めます。

一般財団法人 東京水産振興会

一般社団法人 漁業情報サービスセンター

【開催実績】（平成24年11月20日現在）

第1回：銚子の魚イワシ・サバ・サンマの話題を追って 参加者：140名

と き：2009年12月5日（土）13:00～16:00 ところ：銚子市漁業協同組合4階大会議室

報告者：川崎 健（東北大名誉教授）・小林 喬（元銚路水試）・岡部 久（神奈川水技）

第2回：食としてのカツオの魅力を考える 参加者：110名

と き：2010年1月9日（土）13:00～16:00 ところ：愛媛県愛南町「御荘文化センター」

報告者：二平 章（茨城大地総研）・河野一世（元・味の素食文化センター）

・明神宏幸（土佐鯉水産KK）・藤田知右（愛南漁協）・菊池隆展（愛媛水研センター）

第3回：「黒潮の子」カツオの資源動向をめぐって 参加者：120名

と き：2010年1月11日（月）13:00～16:00 ところ：黒潮町佐賀「黒潮町総合センター」

報告者：二平 章（茨城大地総研）・新谷淑生（高知水試）・東 明浩（宮崎水試）・竹内淳一（和歌山水試）

第4回：水産物の価格形成と流通システム 参加者：80名

と き：2010年3月12日（金）15:00～17:00 ところ：東京水産会館

報告者：市村 隆紀（水産・食料研究会事務局長）

第5回：サンマの生産流通情勢と漁況動向 参加者：107名

と き：2010年8月21日（金）13:00～17:00 ところ：銚子市漁業協同組合4階大会議室

報告者：本田良一（北海道新聞社編集委員）・小林喬（元銚路水試）・鈴木達也（千葉水研センター）・小澤竜太（茨城水試）

第6回：道東サンマの不漁をどうみるか 参加者：170名

と き：2010年11月12日（金）13:00～16:00 ところ：マリントポスくしろ3階大研修室

報告者：中神正康（東北水産研究所主任研究員）・小林喬（元銚路水試）・森泰雄（北海道銚路水試主査）・山田豊（北海道荷主協会副会長）

第7回：タコ日本一・魚のおいしいまちひたちなか 参加者：300名

と き：2011年9月17日（土）13:00～17:30 ところ：ワークプラザ勝田（茨城県ひたちなか市）

報告者：二平章（茨城大学地域総合研究所客員研究員・漁業情報SC）・根本悦子（クッキングスクール根本校長）・宇野崇司（那珂湊漁協採鮑組合）・根本裕之、熊田晃、岡田祐輔（磯崎漁業協同組合）・根本経子（那珂湊漁業協同組合女性部長）・千葉信一（多幸めしシンジゲート代表）・横須賀正留（ひたちなかトトカルチャー研究会代表）・清水実（ひたちなか商工会議所観光振興委員長）・鯉沼勝久（株あ印代表取締役）

第8回：「鹿児島ちりめんの魅力語る」 参加者：65名

と き：2011年10月15日（土）13:00～16:00

ところ：ホテルパレスイン鹿児島（鹿児島県鹿児島市）

報告者：廻戸俊雄（㈱ジャパングッキングセンター）・大久保匡敏（鹿児島県機船船曳網漁業者協議会）・堤 賢一（志布志市商工会・観光特産品協会）・田浦天志（志布志市商工会・背白ちりめん黒潮隊）・小松俊春（元・江口漁業協同組合業務部長）

第9回：「黒潮のまちでカツオを語る」 参加者：69名

と き：2012年2月11日（土）午後1時から4時

ところ：高知県黒潮町総合センター（高知県黒潮町佐賀）

報告者：福田 仁（高知新聞）・嘉山定晃（元・東大海洋研究所・長井水産）・二平 章（漁業情報サービスセンター・茨城大学地域総合研究所）・田ノ本明彦（高知県水産試験場）・菊池隆展（愛媛県農林水産研究所水産研究センター）・東 明浩（宮崎県水産試験場）

第10回：紀州漁民の活躍史とカツオ漁の今を考える 参加者：100名

と き：2012年2月18日（土）13:00～16:30

ところ：和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場

報告者：川島秀一（リアスーク美術館）・坂下緋美（印南町文化協会）・杉本正幸（郷土史家）雑賀徹也（郷土史家）・朝本紀夫（すさみ町商工会）・吉村健三（和歌山東漁協）

第11回：スルメイカ・アカイカの資源動向をさぐる 参加者：150名

と き：2012年5月9日 13:30～16:00

ところ：八戸水産会館

報告者：桜井泰憲（北海道大学）・木所英昭（日本海区水産研究所）・酒井光夫（国際水産資源研究所）

第12回：今年もカツオ水揚げ日本一をめざして 参加者：250名

と き：2012年6月6日 13:00～16:15

ところ：サンマリン気仙沼ホテル観洋

報告者：森田貴己（水産庁研究指導課）・馬場 治（東京海洋大学教授）・菅原 茂（気仙沼市長）

第13回：秋のサンマはとれるのか 参加者：80名

と き：2012年9月12日 14:00～17:00

ところ：東京都中央区 豊海センタービル

報告者：石部善也（全国さんま漁業協会）・小林 喬（元釧路水試）上野康弘（中央水研）

第14回：まぐろシティ・いちき串木野をめざして 参加者：220名

と き：2012年11月24日 13:00～17:00

ところ：いちき串木野市 シーサイドガーデンさのさ

報告者：香川謙二（水産庁増殖推進部長）・鈴木平光（女子栄養大学教授）・上夷和輝（鹿児島まぐろ船主協会理事）・早崎史哉（鹿児島まぐろ同友会会長）

第15回：道東海域で魚種交替が起きつつあるのか？ 参加者：118名

と き：2012年11月27日 13:00～16:30

ところ：釧路市 マリントポスクしろ3階大研修室

報告者：戸田 晃（釧路市漁業協同組合代表理事組合長）・小林喬（漁業情報サービスセンター道東出張所長）・森 泰雄（釧路水産試験場専門研究員）・中神正康（東北区水産研究所主任研究員）・川端 淳（中央水産研究所資源評価グループ長）

第16回：「食」と「観光」のまちづくりをどうすすめるか（地域資源を生かした元気な土佐清水をめざして）

と き：2013年1月26日 13:00～16:30

参加者：140名

ところ：土佐清水市 土佐清水市立市民文化くろしおホール

報告者：中澤さかな（山口県 道の駅「萩しーまーと」駅長）・土居京一（(社)土佐清水市観光協会）・福田金治（松尾さえざり会）・榊原敏文（郷土史家）・問可柁善（高知県漁業協同組合）・瀧澤理（窪津漁業協同組合）・武政光安（土佐清水鯉節水産加工業協同組合）・徳村佳代（土佐清水元気プロジェクト）

第17回:カツオ・鯉節の食と文化 参加者:100名

と き:2013年4月19日 13:00~17:00

ところ:東京都中央区 豊海センタービル2階会議室

報告者:二平 章(JAFIC)・坂下緋美(和歌山県印南町文化協会会長・秋山洋一(にんべん専務取締役)・近藤高史(味の素KKイノベーション研究所主席研究員)・竹内太一(土佐料理「ねぼけ」社長)・朝本紀夫(すさみ町商工会会長)・堀井善弘(東京島しょ農水セハ丈事業所)

第18回:下北の地域漁業とスルメイカの漁況動向 参加者:100名

と き:2013年4月26日 13:00~16:30

ところ:むつ市 むつ来さまい館

報告者:野呂恭成(青森県農林水産部水産局)・三木克弘(中央水産研究所)・木所英昭(日本海区水産研究所)・清藤真樹(青森県水産総合研究所)・澤村正幸(函館水産試験場)・渡邊一功(JAFIC)

第19回:太平洋サマの資源動向と来遊予測 参加者:140名

と き:2013年8月7日 14:30~17:30

ところ:気仙沼市 気仙沼市魚市場3階会議室

報告者:佐藤亮輔(気仙沼漁協代表理事組合長)・小林 喬(元・釧路水産試験場)・巢山 哲(東北区水産研究所)・渡邊一功(漁業情報サービスセンター)

第20回:魚食の文化をどう伝えるか 参加者:70名

と き:2013年9月27日 13:00~11:00

ところ:東京都中央区 豊海センタービル2階会議室

報告者:根本悦子(クッキングスクールネモト主宰)・宮本博紀(大日本水産会)・大森良美(日本おさかなマイスター協会)・高橋千恵子(食生態学実践フォーラム・管理栄養士)・渡邊一功(漁業情報サービスセンター)・木村 恵(東京水産振興会)

第21回:マサバ資源は増大するのか? (1990年代以降,最大と期待される2013年級をめぐって)

と き:2013年10月29日 14:00~17:00

参加者:60名

ところ:銚子市漁業協同組合 4階大会議室

報告者:川端 淳(水研セ中央水産研究所)・内山雅史(千葉県水産総合研究センター)・森 泰雄(釧路水産試験場)・金光 究(茨城県水産試験場)

第22回:サケの資源と流通をめぐる今日的課題 参加者:126名

と き:2013年11月 9日 10:30~17:30

ところ:北海学園大学国際会議場

報告者:帰山雅秀(北海道大学)・宮腰靖之(北海道さけます内水試)・小川 元(岩手県水産技術センター)・高橋清孝(元・宮城県内水試)・佐野雅昭(鹿児島大学)・鈴木 聡(北海道漁連)・山口修司(北海道水産林務部)・津田 要(北海道漁業共済組合)

第23回:ウナギと日本人 参加者:100名

と き:2014年7月 7日 13:00~17:00

ところ:豊海センタービル2階

報告者:太田慎吾(水産庁)・望岡典隆(九州大学)・堺 美貴(月刊日本橋)・高嶋茂男(日本養殖新聞)・飯島 博(アサザ基金)

第24回：道東海域へのサバ・サンマの来遊動向をさぐる

参加者：130名

と き：2014年8月 8日 13:00～16:30

ところ：マリントポスクしろ3階大研修室

報告者：黒田寛（北水研）・内山雅史（千葉水総センター）・三橋正基（釧路水試）・
渡邊一功（JAFIC）

第25回：サンマをめぐる国際情勢と今期の来遊見込み

参加者：100名

と き：2014年8月17日 14:00～17:00

ところ：サンマリン気仙沼ホテル観洋

報告者：田中健吾（水産庁）・巢山哲（東北水研）・高橋晃介（開発センター）・
渡邊一功（JAFIC）

第26回：さかなの観光まちづくりとサバのブランド化

参加者：87名

と き：2014年9月27日 13:30～17:00

ところ：石巻グランドホテル

報告者：後藤義男（沼津魚仲買商協同組合）・鯉沼勝久（株式会社あ印）・武輪俊彦（武輪水産株式会社）・田中憲壯（西日本魚市株式）・須能邦雄（石巻魚市場株式会社）

第27回：風間浦鮫鱈のブランド化と「ゆかい村」観光（水産資源を生かした観光地域づくり）

と き：2014年11月11日 13:00～17:00

参加者：130名

ところ：北通り総合文化センター「ウイング」

報告者：朝本紀夫（和歌山県すさみ町商工会）・森庸宏（青森県観光連盟）・立川博之（神田鮫鱈料理老舗「いせ源」）・竹谷裕平（青森県水産総合研究所）・中塚義光（蛇浦漁協）・長谷雅恵（下風呂温泉旅館組合おかみの会）

第28回：2014年のひき縄・竿釣カツオ漁をふりかえる

と き：2014年12月19日 13:00～17:00

参加者：110名

ところ：南郷ハートフルセンター 文化会館

報告者：清藤秀理（国際水産研究所）・矢吹崇（漁業情報サービスセンター）・小林慧一（和歌山県水産試験場）・平山仁斗（宮崎県水産試験場）

第29回：琵琶湖の魚食文化・その魅力をさぐる（「琵琶湖八珍」を生かした地域づくりをめざして）

と き：2015年2月15日（日）13:00～17:00

参加者：105名

ところ：休暇村「近江八幡」

報告者：中澤さかな（道の駅「萩しーまーと」）・佐寄謙祐（老舗「魚治」）・森田正行（沖島漁協）
・大沼芳幸（大沼芳幸）・田辺文隆（休暇村「近江八幡」）・三枝 仁（滋賀県農政水産部）・桂 陽三（琵琶湖汽船）

第30回：道東沖のサンマ・サバ・イワシ漁の動向をさぐる

と き：2015年8月4日（火）13:00～17:00

参加者：127名

ところ：マリントポスクしろ3階大研修室

報告者：田中健吾（水産庁）、ウラジーミル・ツルーポフ（ロシアサブサングループ）、中神正康（東北水研）、稲川 亮（釧路水試）、須能紀之（茨城水試）、三橋正基（釧路水試）

第31回:サンマ資源の国際管理と今期の来遊動向

と き： 2015年8月11日(火) 14:00~17:20

参加者：119名

ところ： サンマリン気仙沼ホテル観洋

報告者：田中健吾(水産庁)、浅川雄喜(NHK釧路)、阿保純一(開発調査センター)、中神正康(東北水研)、渡邊一功(JAFIC)

第32回:水揚げ日本一・銚子の美味魚を生かした観光地域づくり

と き： 2015年11月14日(土) 13:00~17:00

ところ： 銚子プラザホテル ロワイヤルホール

報告者：清水実(ひたちなか市観光協会)、後藤義男(沼津みなと商店街協同組合)、小林崇亮(全日本さば連合会会長)、荻久保勝雄(銚子ボランティアガイド観光船頭会)、大塚憲一(銚子市漁業協同組合)、金野一男(銚子市漁業協同組合外川)、清水俊和(銚子まちづくり株式会社)

第33回:神の魚・ハタハタと伝統の食文化 (東京から地域漁業への応援メッセージ)

と き： 2015年11月14日(土) 13:00~17:00

ところ： 銚子プラザホテル ロワイヤルホール

報告者：浅岡元子(日本の伝統食を考える会)、杉山秀樹(秋田県立大)、甲本亮太(秋田水産振興センター)、塚本研一(秋田県総合食品研究センター)、三浦悦郎(三浦米太郎商店)、渡部恵美(秋田市中央卸売市場)